

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

院内心停止患者における予後予測

2. 研究の対象患者

2022年6月～2025年3月の期間において当院に入院中に心停止となり心肺蘇生を施行した方で、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

(1) 選択基準

以下の基準を全て満たす方

- 1) 入院中の方
- 2) 心肺蘇生を実施した方
- 3) 性別不問

(2) 除外基準

以下のいずれかに抵触する患者は本研究に組み入れないこととする

- 1) 外来患者
- 2) 心停止に至っていない方
- 3) 入院後2度目の心停止となった方
- 4) 心肺蘇生を実施しないことになっていた方

3. 研究の対象期間

2022年6月～2025年3月

4. 研究の概要

院内心停止は、生存退院が15%という報告もあり予後が悪い。心停止時の自己心拍再開までの情報による予後予測は、高度な蘇生医療の適応の判断や蘇生中止の判断に重要である。国外では、CASPRIスコア、GO-FARスコアといった心停止後の神経学的予後を予測するスコアリングも発表され、大規模後ろ向き研究も施行されているが、国内での研究報告は少ない。そこで、本研究では、当院で院内心停止となった症例を、診療録をもとに後ろ向きに解析し、生存退院群と死亡退院群の各種スコアリング含めた予後予測因子について比較、検討する。

5. 研究実施予定期間

2026年5月20日～2026年5月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：年齢、性別、ECGモニターの有無、入院時病名、既往歴、合併症、入院元の施設、入院時のADL、心停止直前のADL、退院時のADL、退院時の生死、心肺蘇生実施時間、心停止時の初期心電図波形、心肺蘇生実施までの時間、心肺蘇生時の気管挿管実施の有無

〔血液生化学的検査〕：ALB

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後ろ向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究対象者(又は代諾者)個々に結果説明することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも

患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者： 救急救命科 森山 暁平
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)